

2025 年 8 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン フ ォ ネ ッ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 古 宿 智
(コード番号：4444 東証グロース)
問 合 せ 先 広 報 I R 室 平 塚 友 香
(TEL. 03-5221-7591)

2026 年 3 月期第 1 四半期決算に関する質疑応答集

当社の 2026 年 3 月期第 1 四半期決算に関して、当社で想定しておりました質問および発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想、および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。なお本開示は市場参加者のご理解を一層高めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

Q 1. 今期は、通期で 4.5%の増収、営業利益は 13.4%の減益を予想されていますが、第 1 四半期を終えて、社内計画と比較した上での事業、業績への評価を教えてください。

A 1. 通期で 4.5%の増収を見込む計画に対し、第 1 四半期は期初に策定した社内計画に概ね沿った進捗となりました。特に AI 関連事業は好調に推移しており、今後の成長ドライバーとしての役割が拡大しております。一方、営業利益につきましては、通期で 13.4%の減益を見込んでおりますが、その主因は戦略的な先行投資によるものであり、人材強化に伴う人件費・採用教育費の増加や、本社移転に伴う一時的コストが含まれます。これらのコストは主に第 1 四半期に集中して発生したものであり、中期的な成長基盤の構築を目的としています。第 2 四半期以降は、こうした先行投資の効果が徐々に収益面にも反映されてくる見通しです。

Q 2. ストック収益の状況について、第 1 四半期時点までの評価と今後の見通しについて教えてください。

A 2. ストック収益は、公共領域における大型システム案件のプロジェクト終了に伴い、第 1 四半期時点では前年同期比+0.1%とほぼ横ばいで推移しております。今後は、第 2 四半期以降に向けて、需要が拡大している AI 事業や SNS 運用などの広報支援サービスをはじめ、各グループ会社のお客様へのクロスセルを一層強化し、ストック収益の着実な拡大を図ってまいります。

Q 3. 売上総利益率が低下しています。この要因と第 2 四半期以降の取り組みと今期の売上総利益率の通期での目標値を教えてください。

A 3. 売上総利益率の低下は、主にインフォネットにおける大型案件のペンディングや、戦略的投資の先行実施によるコスト負担が影響しております。一方で、グループ会社のアイアクト、i-MediX、ブランドデザインでは収益性の改善が進んでおり、第 2 四半期以降は AI を活用した制作業務の高効率化や、グループシナジーの発揮による付加価値向上を図ってまいります。通期においては、こうした取り組みを

通じて売上総利益率の改善を目指してまいります。

Q 4. 今後の業績進捗について。第1四半期では、期初計画通りの推移とのことですが、今後の事業進捗を見ていくにあたり、第2四半期時点、第3四半期時点でどのような成果を目論んでいるかについて、教えてください。

A 4. 今後の業績進捗に関しては、以下の成果達成を目標としております。

＜第2四半期＞

- ・大型案件の受注時期のずれに伴う受注回復
- ・AI 関連事業において、上期計画比 110%以上の売上達成予定
- ・グループ各社の専門技術を組み合わせたソリューション提案の拡大とクロスセルの強化

＜第3四半期＞

- ・アライアンス強化による AI 事業のさらなる成長加速
- ・高いニーズと参入障壁を備えた複合型ソリューションの販路拡大
- ・AI を活用した制作業務の効率化による収益性改善

通期に向けては、これらの取り組みを着実に積み重ね、期初計画の達成とともに、来期以降の持続的な成長基盤の確立を目指してまいります。

以 上